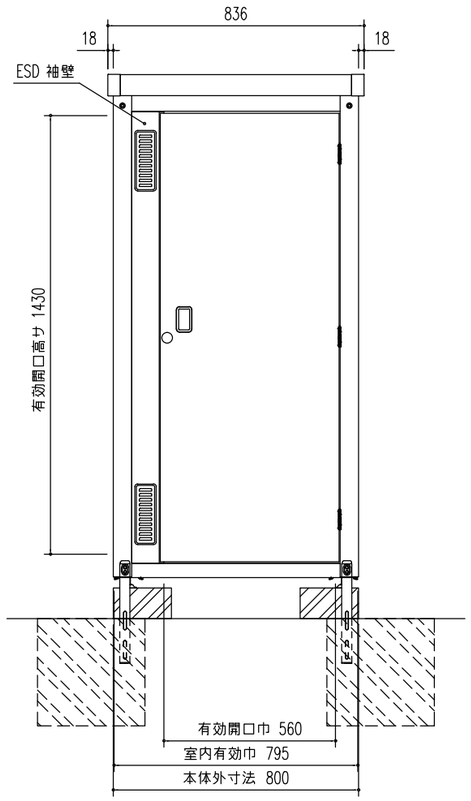
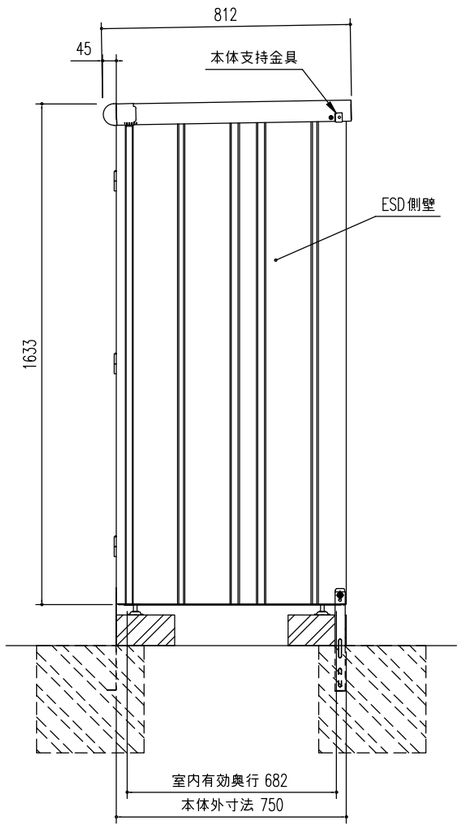
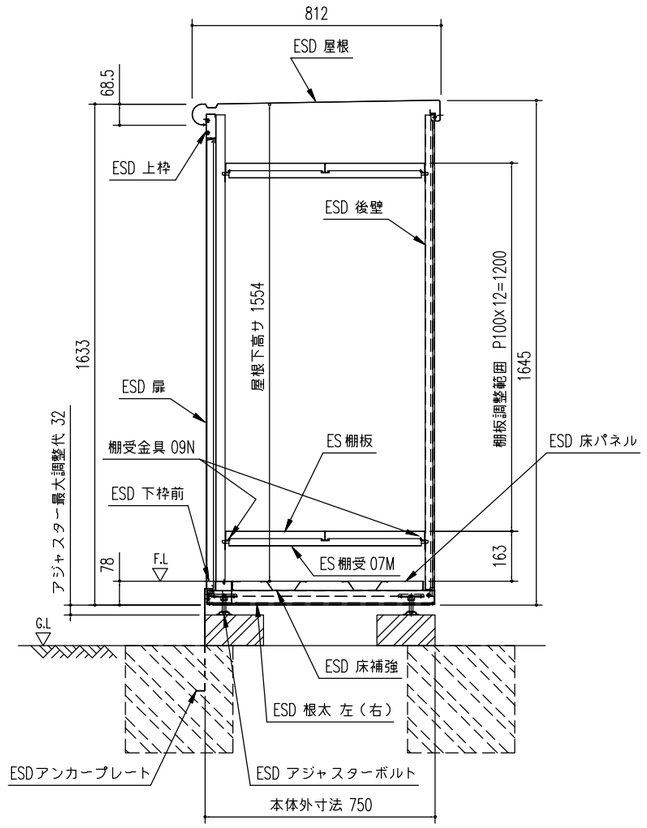


正 面 立 面 図 (S=1/20)



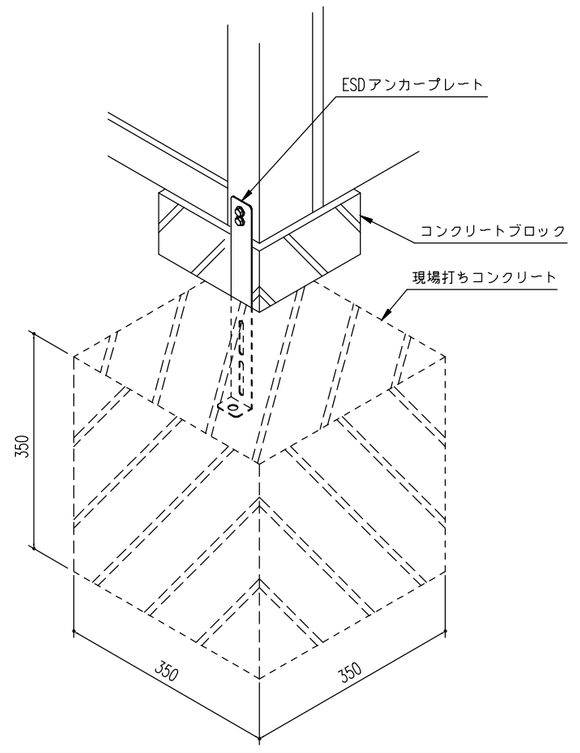
側 面 図 (S=1/20)

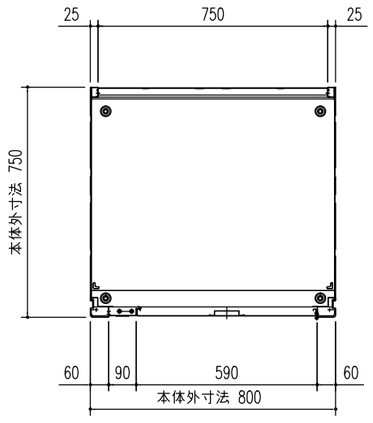


矩 計 図 (S=1/20)

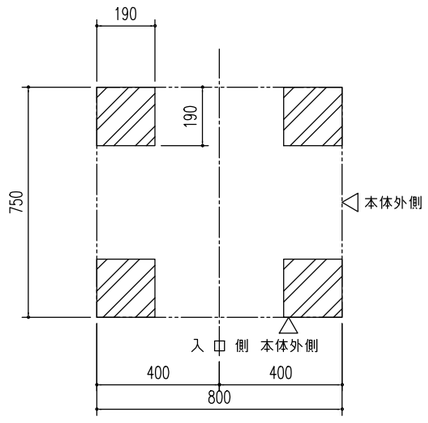
部材名			厚さ(m/m)	材質
ESD 屋根			0.6	JIS G3322 塗装溶融55%アルミニウム－亜鉛合金めっき鋼板 CGLCC
ESD 上枠			0.8	JIS G3322 塗装溶融55%アルミニウム－亜鉛合金めっき鋼板 CGLCC
ESD 側壁			0.6	JIS G3322 塗装溶融55%アルミニウム－亜鉛合金めっき鋼板 CGLCC
ESD 袖壁			1.0	JIS G3322 塗装溶融55%アルミニウム－亜鉛合金めっき鋼板 CGLCC
ESD 扉			0.6	JIS G3322 塗装溶融55%アルミニウム－亜鉛合金めっき鋼板 CGLCC
ESD 後壁			0.5	JIS G3322 塗装溶融55%アルミニウム－亜鉛合金めっき鋼板 CGLCC
ESD 床板	ESD 下枠前		0.6	JIS G3322 塗装溶融55%アルミニウム－亜鉛合金めっき鋼板 CGLCC
	ESD 床パネル		0.6	JIS G3322 塗装溶融55%アルミニウム－亜鉛合金めっき鋼板 CGLCC
	ESD 床補強		0.6	JIS G3322 塗装溶融55%アルミニウム－亜鉛合金めっき鋼板 CGLCC
	ESD 根太左(右)		0.5	JIS G3322 塗装溶融55%アルミニウム－亜鉛合金めっき鋼板 CGLCC
	ESD アジャスターボルト	ボルト	－	JIS G3507-1 冷間圧造炭素鋼 SWRCH 10R ＋溶融55%アルミニウム－亜鉛合金めっき
		カップ	2.3	JIS G3131 熱間圧延軟鋼板 SPHC-P ＋溶融55%アルミニウム－亜鉛合金めっき
本体支持金具			1.6	溶融亜鉛めっき鋼板(後塗装仕上げ)
ESD アンカープレート			1.0	JIS G3322 塗装溶融55%アルミニウム－亜鉛合金めっき鋼板 CGLCC

注１）本体支持金具にて転倒防止対策が
出来ない場合には、本図を参考にして
現場の実情にあわせて基礎工事を行って下さい。
注２）強風地、寒冷地等に設置する場合、
現地の実情にあわせて設計・施工して下さい。





平 面 図 (S=1/20)



ブロック基礎伏図 (S=1/20)

名称	ヨド物置 エスモ
機種名	ESD-0807CGL 型

株式会社 淀川製鋼所

ヨド物置 エスモ
組立説明書
(ESD-0805Y、0805C、0805B、0807Y、0807C、0807B)

このたびは「ヨド物置」をお買上げいただきまして、誠にありがとうございます。
組み立てる前に、この「組立説明書」をかならずお読みください。
なお、この説明書は、0807B型を基準に書いてありますが、組立て方法は、全タイプとも同じです。

設置場所の制限

⚠注意	●建物の屋上には設置しないでください。 ●バルコニー等の避難通路にあたる場所には設置しないでください。 ●大屋根からの雨水や雪が、直接物置の屋根に落ちる場所には、設置しないでください。 ●崖のふち・風当たりの強い場所等安全の確認のできない場所には、設置しないでください。 ●給湯器の前には設置しないでください。

組立施工の際には

⚠注意	●アンカー工事等の転倒防止工事を必ず行ってください。
お願い	●組立の際には手袋を着用してください。 ●風の強い日・雨の日は、組立作業をさけてください。 ●高い足場が必要な場合は、踏み台・脚立等安定した足場を使用してください。 ●組立後各部のボルト・金具の忘れやゆるみがないか確認してください。

※市販のコンクリートブロック(幅19cm×長さ19cm×高さ10cm)を、4個ご用意ください。

〈施工にあたって〉 安全のため必ず手袋を着用してください。

1.まず、御注文通りの商品かどうかを下の梱包組合せ表・梱包内容表にてご確認ください。
2.基礎ブロックは市販のコンクリートブロックを御使用ください。
　ブロックの大きさは巾19cm×長さ19cm×厚さ10cmまたは巾19cm×長さ39cm×厚さ10cmのものが適当です。
3.部品の共通化のために、実際には使用しない孔のあいている部材がありますので、説明書に従って組立てしてください。
4.部材は、すべて、鋼製ですので手を切らないようくれぐれもご注意ください。

〈安全なご使用のために〉 ※取扱説明書を必ずお読みください。

1.庫内に入るときは、扉を開放状態にし、絶対に閉めないでください。
2.鍵により施錠する際は、庫内に人がいない事を必ず確認してください。また、使用しないときは、必ず鍵による施錠をしてください。
3.小さなお子様には、使用させないでください。
4.使用される方に、上記内容を周知してください。

梱包組合せ表

梱包＼機種	0805Y	0805C	0805B	0807Y	0807C	0807B
側壁梱包	ES4-0441	ES4-0443	ES4-0445	ES4-0442	ES4-0444	ES4-0446
屋根・床梱包	ES4-0915	ES4-0916	ES4-0916	ES4-0917	ES4-0917	ES4-0917
扉・後壁梱包	ES4-1741	ES4-1742	ES4-1743	ES4-1741	ES4-1742	ES4-1743
棚板梱包	ES4-1975	ES4-1976	ES4-1976	ES4-1977	ES4-1977	ES4-1977

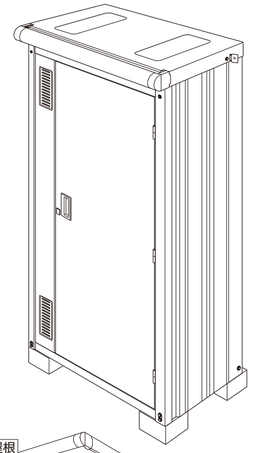
梱包内容表 ご確認のうえ、説明書に従って組み立ててください。

梱包番号	屋根・床梱包 ES4-0915	屋根・床梱包 ES4-0916	屋根・床梱包 ES4-0917
部品名	数量		
屋根	1	1	1
上枠	1	1	1
床板	1	1	1
棚受	-	-	8
屋根止結金具	5	5	5
壁止結金具	4	4	4
棚受金具	8	12	-
工具キット	1セット	1セット	1セット
本体支持金具セムスボルト(ステン)	各2	各2	各2
セムスボルト(ステン)	11(予備1ケ)	11(予備1ケ)	11(予備1ケ)
セムスボルト(色:ゴールド)	14(予備1ケ)	14(予備1ケ)	14(予備1ケ)
フランジナットM6	3	3	3
アンカープレート	4	4	4
アジャスタボルトキャップ	4	4	4
組立説明書	1	1	1
取扱説明書	1	1	1
保証書	1	1	1
組立チェックシート	1	1	1

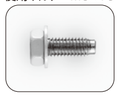
梱包番号	側壁梱包	扉・後壁梱包	
	ES4-0441 ES4-0442 ES4-0443 ES4-0444 ES4-0445 ES4-0446		ES4-1741 ES4-1742 ES4-1743
部品名	数量	部品名	数量
側壁・右	1	扉	1
		後壁	1
		袖壁	1
側壁・左	1	取手・小	1セット
		鍵	2本

梱包番号	棚板梱包 ES4-1975	ES4-1976	ES4-1977
部品名	数量		
棚板	2	3	4

鍵は、扉の裏面に貼り付けてあります。

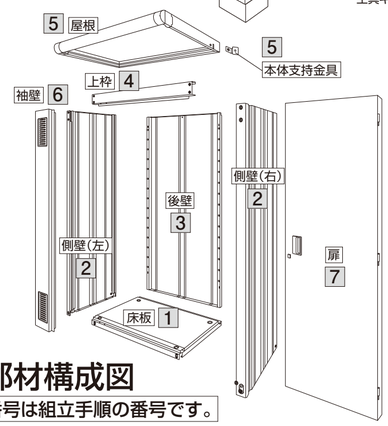


使用ボルト　M6×15



組立用ボルトは2個予備があります。
(ステン1個、色:ゴールド1個)

工具キット［プラスドライバー / T型スパナ / 水準器］

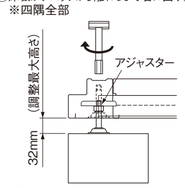


物置部材構成図
上記の番号は組立手順の番号です。

1 床板の設置

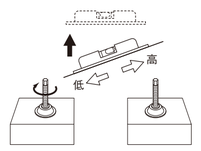
①**ブロック**の上に床板を置いて、四隅のアジャスターを**T型スパナ**で、床板が**ブロック**から離れるまで右に回します。固くて回らない時は、**T型スパナ**の孔に**プラスドライバー**を差して回してください。
②**水準器**を床に置いて、低い所のアジャスターを**T型スパナ**で右に回し、水平を出してください。
※床の調整可能高さは32mmまでです。
③**アジャスタボルトキャップ**を取付けます。
※水平の再調整などで、はずす時はマイナスドライバー等でツメを押してください。

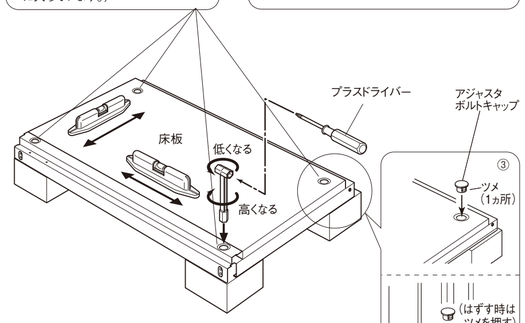
①床板がブロックから離れるまで右に回す。
※四隅全部



(出荷時はアジャスターは床よりも内側に入っています。)

②四隅のアジャスターで水平を出す。
<水準器の使い方>
気泡がよる方向(高)と逆側(低)のアジャスターを右に回します。気泡が二線の間に来ると水平です。

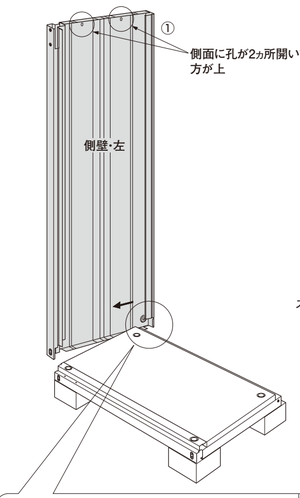


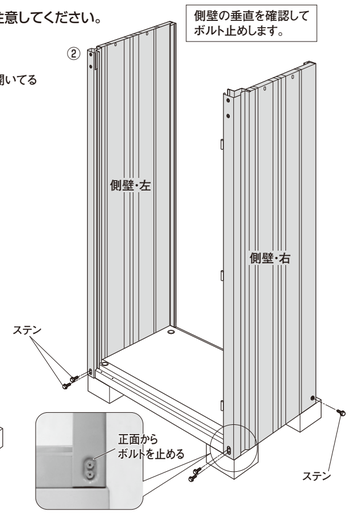


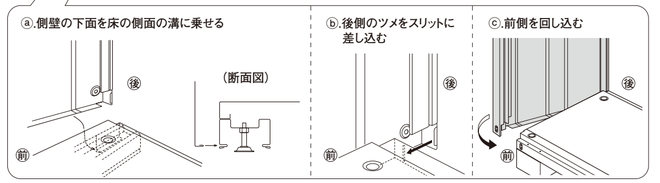
2 側壁の取付け

①ⓐ.側壁・左の下面の後端を床側面の溝に乗せます。
　ⓑ.側壁・左の後側のツメを床板のスリットに差し込みます。
　ⓒ.側壁を前方へ回し込みながら取り付けます。
②前側、後側を**ボルト**(ステン)で固定します。先に後側を固定すると安定します。
③側壁・右も、同様にして取り付けます。
※強風により倒れることがありますので注意してください。

側壁の垂直を確認してボルト止めします。

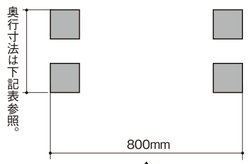




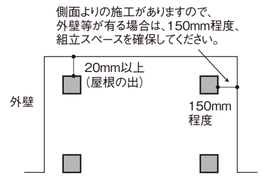


前工程 コンクリートブロックの設置

コンクリートブロックを図の寸法に並べます。
(必ず水平を出してください。)



※コンクリートブロック配置寸法は下記表を参照して下さい。



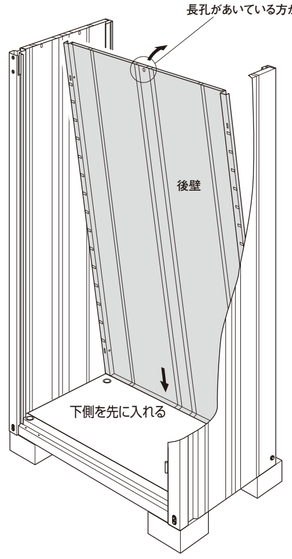
配置寸法表

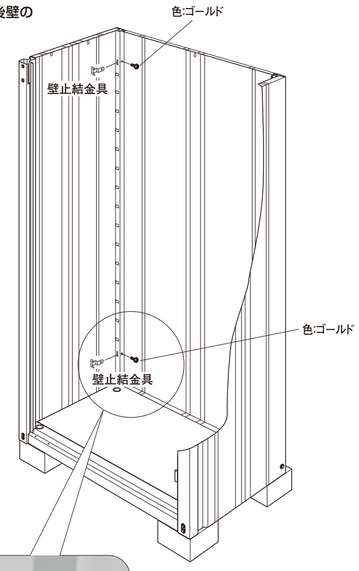
機種名	奥行寸法
0805Y	513
0805C	513
0805B	513
0807Y	750
0807C	750
0807B	750

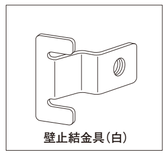
※単位:mm

3 後壁の取付け

①**後壁**の下側を左右の**側壁**の間に差し込み落とし込みます。
②**後壁**を起こし上側をはめ込みます。
③**壁止結金具**を**後壁**の角孔に差し込み**ボルト**(色:ゴールド)止めします。
(壁止結金具を差し込めば、**ボルト**止めしなくても一時的に後壁の転倒を防止できます。)

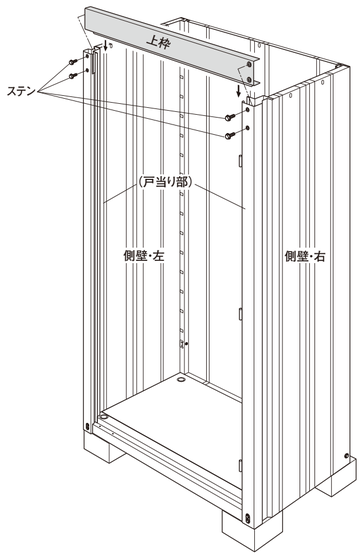






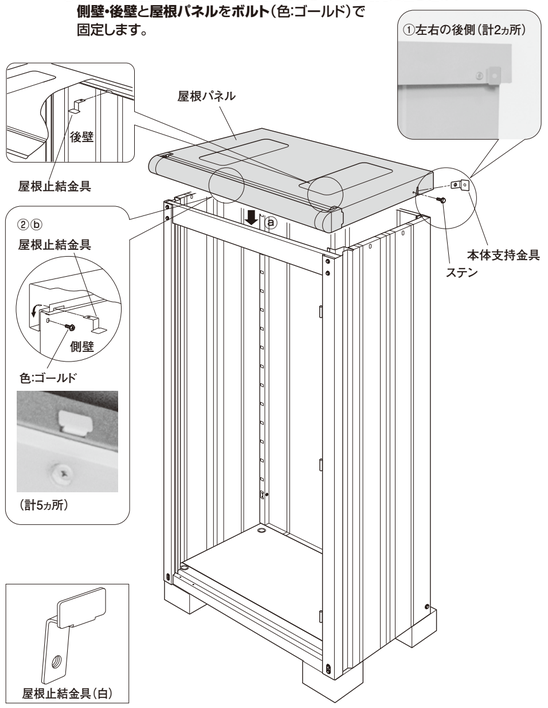
4 上枠の取付け

側壁の戸当り部に上枠を乗せ、
ボルト(ステン)止めします。



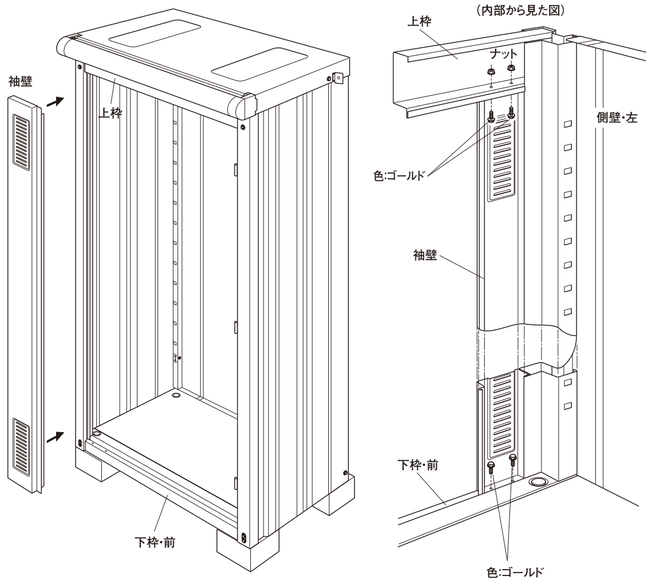
5 屋根パネルの取付け

①**本体支持金具**の**ボルト**（ステン）を一度はずして、金具を**屋根パネル**に差し込み、**ボルト**（ステン）止めします。
②ⓐ.**屋根パネル**を**側壁・上枠・後壁**の上にかぶせます。
ⓑ.**屋根止結金具**を**屋根パネル**の側面および後面の角孔に差し込み、**側壁・後壁**と**屋根パネル**を**ボルト**（色:ゴールド）で固定します。



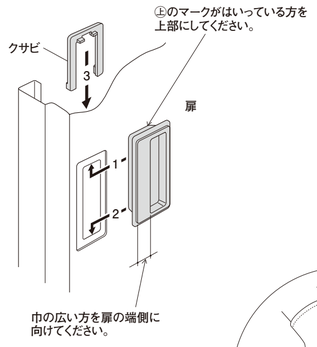
6 袖壁の取付け

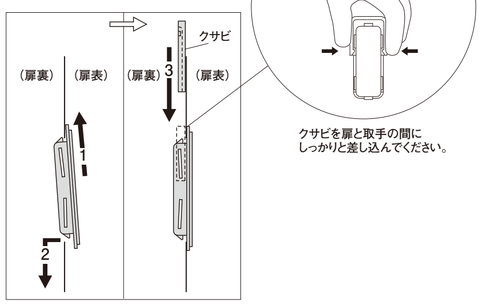
袖壁を正面左側にはめ込み、**上枠**と**下枠・前**にボルト止めします。
※**上枠**と**袖壁**の固定はボルト（色:ゴールド）とナットで行ってください。



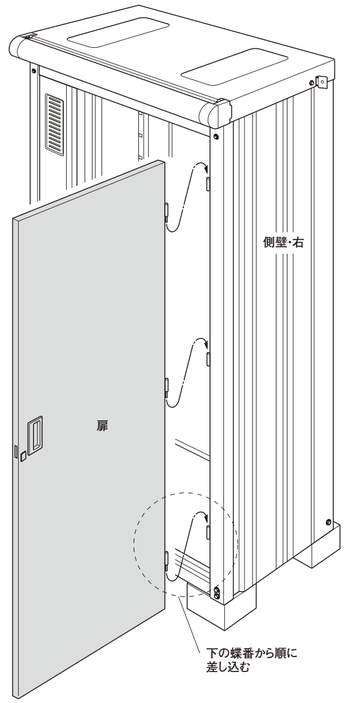
7 扉吊り込み

※取手は扉梱包に入っています。
①取手を扉に取り付けます。取手裏側の㊤のマークが入っている方を上部にして、クサビを差し込んで固定してください。



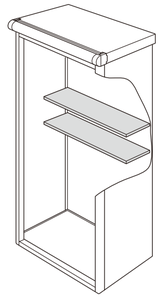


②扉の蝶番を**側壁・右**の蝶番に、差し込んでください。（0805Y型・0807Y型の蝶番は2箇所となっています。）
この際、**扉**は90°以上開いた状態で下の**蝶番**から順に差し込んでください。

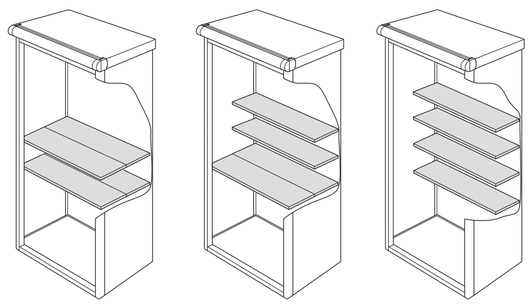


8 棚板の取付け

収納物や使い勝手を考慮し、棚板の位置を決めてください。
〈0805Y型の棚取付け例〉



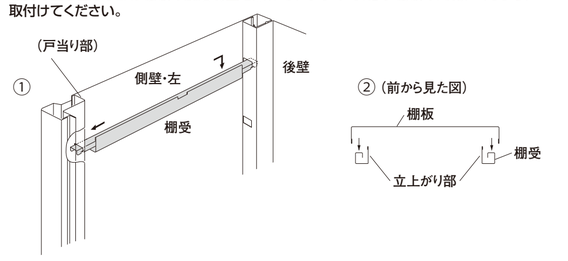
〈0807Y型、0807C型、0807B型の棚取付け例〉
※前後分割が可能です。



機　種	棚板枚数
0805Y	2枚
0805C、0805B型	3枚
0807Y、0807C型 0807B型	4枚

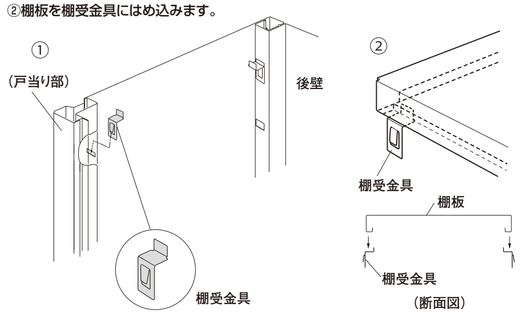
〈0807Y、0807C、0807Bの場合〉

①**棚受**の前側を**戸当り部**の角孔に差し込みます。次に後側を**後壁**の角孔に引き戻し、切り欠き部を角孔に落とし込みます。
②棚板を棚受にはめ込みます。
※棚受の立ち上がり部は棚板の脱落防止を兼ねていますので、必ず棚板の内側にくるように取付けてください。



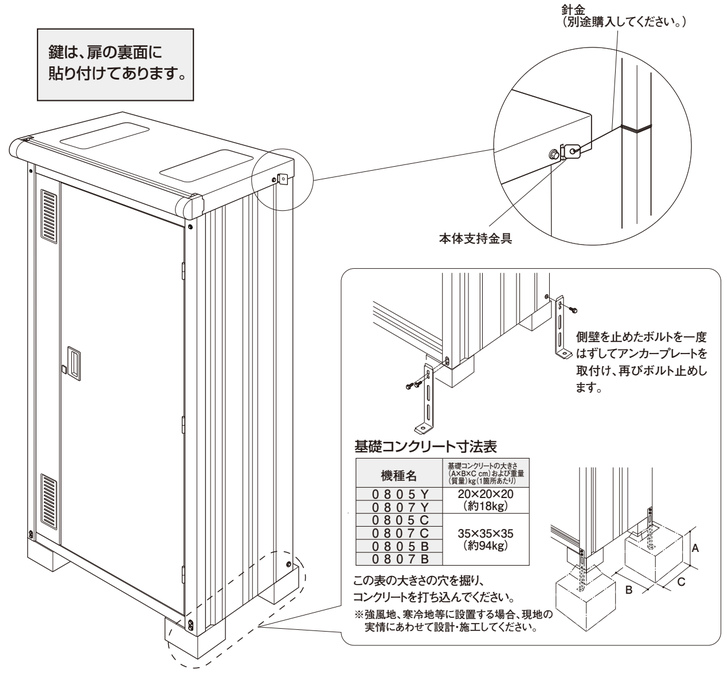
〈0805Y、0805C、0805Bの場合〉

①**棚受金具**を**戸当り部**、**後壁**の角孔に差し込みます。
②棚板を棚受金具にはめ込みます。



9 組立完成図

①転倒防止の為必ず**本体支持金具**に**針金**（針金は別途ご購入ください）を通し、母屋などに固定するか、アンカープレートを前後4ヵ所に取り付け、コンクリートを打込みます。
②最後に各部の直角を確認して**ボルト**をもう一度しっかり締め直してお使いください。



（以上で完成です）

この組立説明書はエコマーク認定の再生紙を使用しています

お客様へ

組立説明書と取扱説明書は大切に保管してください。

施工業者の方へ

取扱説明書は大切な書類です。本書と取扱説明書は、必ずお客様にお渡しください。

（ESD-0805Y他）
ヨドコウ
淀川製鋼
（2012.2月製作A）